Antec
The Power of You

Quiet computing

New Solution Series

NSK3480

User's Manual

Manuel de l'utilisateur
Anwenderhandbuch
Manuale per l'operatore
Manual del usuario
取扱説明書

Antecでは、連続的に製品を精緻化して改良し、最高品質を確保しています。したがって、新しいケースはこのマニュアルの説明と若干異なる場合があります。これは単なる改良ですので、問題とはなりません。 発行日の時点において、本マニュアル内のすべての機能、説明、および図は正確です。

免責条項
このマニュアルはAntecのコンピュータケース用手引書としての使用を目的としています。マザーボードと周辺機器の取り付けに関するより包括的な説明については、コンポーネントおよびドライブに同梱されているユーザーマニュアルを参照してください。

ニューソリューションシリーズユーザーマニュアル
NSK 3480
静音マイクロATXケース

NSK3480ケースEA-380電源搭載
NSK3480は、EarthWatts 380W電源が搭載されています。ユニバーサルAC入力、アクティブPFC対応で、シングル80mm冷却ファンを搭載し、ATX12V version 2.2に準拠しています。この電源は、デュアル+12V出力系統により安全で信頼性の高い電力をシステムコンポーネントに提供し、優れた効率性により最大で25%まで電力消費を削減します。これにより電気代の節約も可能です。EarthWattsは、電源効率の新基準である「80 PLUS®」認証を受けています。更に様々な保護回路がこの電源には搭載されています。: 過電圧保護(OVP)、短絡保護(SCP)、電圧不足保護(UVP)、過電力保護(OPP)
この電源は、以前のSFXフォームファクター電源に下位互換性があります。電源に機器を接続する前に、マザーボード及び周辺機器のマニュアルを参照し、それぞれの機器が適切に接続されているかを確認してください。

こちらの電源には、メインパワースイッチがついています。コンピュータ自体の電源を入れる前に、パワースイッチがON (I)の位置になっていることを確認してください。通常の使用では、このスイッチをOFF (O)の位置にする必要はありません。この電源は、お持ちのコンピュータケースに備え付けのソフトスイッチにより電源の入/切の切り替えが可能です。万が一、コンピューターがクラッシュした際やソフトスイッチでは電源が切れない際に、このパワースイッチをOFFの位置に戻す必要があります。
この電源には、欧州規格規制コードEN61000-3-2に従って力率改善回路(PFC)が搭載されています。入力電力波形の変更により、PFCは電源の力率を改善します。 これにより、エネルギー効率の増加、ヒートロスの低減、配電および電力消費機器の寿命の延長、出力電圧の安定性の向上が実現されます。 この電源はよりクリーンで静かな動作環境を提供します。

デュアルチャンバー構造
このケースは２つのチャンバーに分かれています。マザーボードチャンバーと電源チャンバーがそれぞれ分離され、最大限の静音性とクーリング性能を発揮します。

セットアップ
1. 箱からケースを取り出します。 発泡スチロールとビニール袋を取り除きます。
2. 背面の電源ファンが自分に正対するように、ケースを平らで安定した面にまっすぐに置きます。
3. ケースのトップカバーを固定している2個のつまみネジを外します。 ケースを開くために取り外す必要があるネジは、この2つのみです。 取り外したネジを脇におき、他のネジと混ざらないようにしておきます。
4. トップパネルをケース後方にスライドさせ、パネルを持ち上げます。

5. 各サイドパネルの上部(電源の前方)にタブがあります。このタブを使って、サイドパネルを持ち上げて手前に引き、パネルを取り外します。
6. ケースの中に、電源、数種類の配線(LEDなど)、備え付けI/Oパネル、電源コード、および金物類(ねじ、真鍮のスペーサー、プラスチックスタンドなど)が入ったビニール袋があることを確認します。

マザーボードの取り付け

このマニュアルは、CPU、RAM、または拡張カードの取り付けについては対象としていません。特定の取り付け指示およびトラブルシューティングについては、マザーボードのマニュアルを参照してください。

1. 開いている側が上を向くように、ケースを寝かせて置きます。ドライブケージと電源が確認できるはずです。
2. お手元のI/Oパネルが、正しくマザーボードに対して適切であることを確認してください。付属のパネルがマザーボードに対応していない場合、正しいI/Oパネルについてマザーボードメーカーにお問い合わせください。
3. マザーボードをスペーサーの穴に揃えて、どの穴が合うのかを確認し、その場所を覚えておきます。すべてのマザーボードが、設置されたネジ穴のすべてを使用するわけではありません。これは正常で、機能への影響はありません。一部のスペーサーは、便宜上、事前に取り付けられています。
4. マザーボードを持ち上げて取り外します。
5. 真鍮のスペーサーを、マザーボードに合うネジ穴に取り付けます。
6. マザーボードを真鍮のスペーサー上に置きます。
7. 付属のプラスネジを使って、マザーボードをスペーサーに留めます。
8. これでマザーボードの取り付けが完了しました。

電源とLEDの接続

電源はATX12V version 2.2基準に準拠します。 電源をいずれかのデバイスに接続する前に、マザーボードやその他の周辺機器に対応するユーザーマニュアルを参照してください。同梱の電源ケーブルは、この製品専用のもので、汎用性はありません。

1. 電源からケース内へケーブルを通す必要があります。写真１のように2つの穴を利用します。１つの穴は小さくなっており、メインの20または24ピンコネクター以外の電源・インターフェースケーブルを通します。
2. 必要に応じて、24ピンメインパワーコネクタおよび4ピンまたは8ピンコネクタをマザーボードに接続します。 マザーボードが20ピンコネクタを使用する場合、24ピンパワーコネクタ上の4ピンアタッチメントを外します(写真2と3を参照)。**備考**: 取り外し可能な4ピン部分は、4ピン+12Vコネクターには利用できません。
3. リセットスイッチ(RESET SWのラベル付き)を、マザーボードのRSTコネクタに接続します。これ¥らのスイッチは極性（プラス・マイナス）は関係ありません。
4. 電源スイッチ(POWER SWのラベル付き)を、マザーボード上のPWRコネクタに接続します。
5. 電源LEDコネクタ(POWER LEDのラベル付き)は、リセットコネクタの後方に配置されています。こちらのコネクターもマザーボードに接続します。すべてのLEDコネクターのプラス(+)側の線には色が付けてあります。LEDが点灯しない場合は、

写真1

写真2

24ピンマザーボード

写真3

20ピンマザーボード

極性を入れ替えて接続してみてください。LED接続に関する更に詳しい情報は、お手持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。

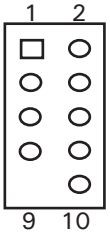
6. ハードドライブLED(H.D.D. LEDのラベル付き)をIDEコネクタに接続します。

USBポートの接続

フロントUSBポートに取り付けられているケーブル上には、10ピンコネクタが1つあります。これは誤挿入防止キー付きのIntel標準コネクタで、正規のInte l 標準マザーボードヘッダーでは誤って逆向きに接続することがないようになっています。ヘッダーピンなし部分の上にブロックされたピンがはまるように、10ピンコネクタをマザーボードヘッダに接続します。

注記: USBヘッダーピンのレイアウトについてはマザーボードのマニュアルで確認し、添付の表と一致することを確かめてください。 このIntel基準に一致しない場合、販売店にご相談ください。

マザーボードピンレイアウト



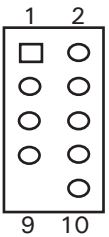
ピン	信号名	ピン	信号名
1	USB電源1	2	USB電源2
3	負の信号1	4	負の信号2
5	正の信号1	6	正の信号2
7	接地1	8	接地2
9	キー(接続なし)	10	空のピン

IEEE 1394 (FireWire®、i.Link®) ポートの接続

フロントIEEE 1394接続に取り付けられているケーブル上に、10ピンコネクタが1つあります。 これは誤挿入防止キー付きのIntel標準コネクタで、正規のIntel標準マザーボードヘッダーでは誤って逆向きに接続することがないようになっています。 ヘッダーピンなし部分の上にブロックされたピンがはまるように、10ピンコネクタをマザーボードヘッダに接続します。

注記: IEEE 1394ヘッダーピンのレイアウトについてはマザーボードのマニュアルで確認し、添付の表と一致することを確かめてください。

フロントパネルIEEE1394コネクタ用ピン割り当て

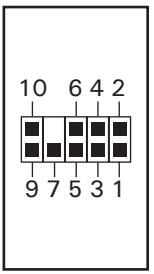


ピン	信号名	ピン	信号名
1	TPA+	2	TPA-
3	接地	4	接地
5	TPB+	6	TPB-
7	+12V (ヒューズ付き)	8	+12V(ヒューズ付き)
9	キー(ピンなし)	10	接地

オーディオポートの接続(AC’97及びHDA)

フロントパネルスピーカーおよびマイクロフォン接続から出ている、Intel®標準10ピンAC’97コネクタ及びIntel®標準10ピンHDA（ハイディフィニションオーディオ）コネクターがあり、マザーボードに対応するいずれかの１つをマザーボードに接続することができます。以下の詳細をご参照ください。

オーディオポートのピンレイアウト（HDA及び AC’97）



ピン	ピン配置 (HD AUDIO)	ピン	ピン配置 (AC'97 AUDIO)
1	MIC2 L	1	MIC In
2	AGND	2	GND
3	MIC2 R	3	MIC Power
4	AVCC	4	NC
5	FRO-R	5	Line Out (R)
6	MIC2_JD	6	Line Out (R)
7	F_IO_SEN	7	NC
8	Key (no pin)	8	Key (no pin)
9	FRO-L	9	Line Out (L)
10	LINE2_JD	10	Line Out (L)

マザーボード及びサウンドカードの内部オーディオコネクターの位置を確認してください。ピン配置については、マザーボード、ビデオカードのマニュアルをご参照ください。

3.5インチデバイスの取り付け

5.25インチドライブベイの下に、外部3.5インチドライブベイが1つあります。

1. 3.5インチドライブベイをベゼルから慎重に取り外します。ドライブを前から挿入し、ドライブケージの前面に揃えます。
2. 片手でドライブを支えながら、付属のネジを使ってドライブを固定します。
3. 電源上の白い小さな4ピンコネクタを探し、それをフロッピードライブ上の4ピンオスコネクタに接続します。

3.5インチHDDの取り付け

3.5インチHDDマウンティングポイントが5.25”ドライブベイ下部とケースの底部にあります。上部のドライブベイマウント（5.25”ドライブベイ内下部）を利用することをお勧めします。それにより冷却性とケーブルマネジメント性能が向上します。ケース底部のHDDベイを利用すると、利用するPCIカードにより、第4PCIスロットが利用できなくなることがあります。

1. ハードディスク用に、内蔵3.5インチドライブベイが2つあります。1つは下側5.25インチドライブベイの中に、もう1つはケースの底部に位置しています。HDDを取り付けるには、どちらのドライブベイもソフトシリコングロメット付きのHDDトレイを使用します。
2. HDDトレイをケースに固定しているネジを外し、トレイをスライドさせてケースから取り出します。
3. 付属の特殊ネジを底面のシリコングロメットに通し、ハードドライブをドライブトレイに装着します。**備考**: ネジを締めすぎないでください。ネジを締めすぎると、シリコングロメットによる振動とノイズの低減機能が損なわれます。

4. トレイをスライドさせてケースに戻し、固定します。
5. 必要に応じて、他のデバイスでも同じ手順を繰り返します。
6. 電源側の周辺機器用モレックスコネクターをデバイス側のオス4ピン、またはシリアルATAコネクターに接続してください。

5.25インチデバイスの取り付け

2つの外部5.25インチドライブベイがあります(下側5.25インチベイ内にはHDDトレイが1つ格納されています)。 備考: 下側ドライブベイをHDD用に使用する場合、ケースには5.25インチデバイス1台のみしか搭載できません。

1. ケースの後部から見ると、5.25インチドライブベイを覆うメタルグリルが確認できます。ドライバーを慎重にメタルグリルの中へ通し、プラスチックドライブベイカバーが外れるまでゆっくりと外側に押します。
2. 手を使ってメタルプレートを前後に折り曲げ、プレートを折り取ります。グリルを取り除いたあとに露出した金属部分は鋭利なため、ご注意ください。**備考**: 現在使用していないドライブベイを覆うメタルグリルは折り取らないでください
3. 前側から5.25インチデバイスをスライドさせて、ベイに挿入します。
4. 付属のネジを使って、5.25インチデバイスをドライブベイに固定します。
5. 他のデバイスでも同じ手順を繰り返します。
6. 電源からの白い大きな4ピンコネクタを、各デバイス上の4ピンオスコネクタに接続します。

冷却システム

リア排気TriCool™ファン:

NSK 3480には、120mm TriCool™ファンがあらかじめ1つ装備されています。このファンには3段変速スイッチが搭載されており、静音、性能、または最大冷却のいずれかを選択できます。(下記の仕様を参照。) ファンはケースから空気が吹き出るように取り付けられています。電源からの大きな4ピンコネクタを、ファン上の4ピンオスコネクタに接続します。

備考: ファンのデフォルト設定は[低]です。最高の静音コンピュータ環境を実現するには、この速度をお勧めします。

ファンスピードコントローラに関する注記： 通常、ファンが動作する最低電圧は5Vです。Antec電源等にあるファンコントロールや Fan-Onlyコネクターを利用する際は、ファン速度を最大冷却のHighに設定することをお勧めします。ファンコントロールデバイスは、ファンの速度を電圧を変化させることで制御を行います。最小で4.5Vから5Vの間で電圧がかかるため、TriCoolをMedium(パフォーマンス)あるいはLow (静音)に設定し、ファンコントロールデバイスに接続するとファンが始動しないことがあります。ファンコントローラーですでに減圧された電圧が更にTriCoolの回路にて5V以下になることがあります。

仕様:
サイズ: 120 x 120 x 25.4 mm
定格電圧: DC 12V
動作電圧: 10.2V ~ 13.8V

速度	入力電流	空気の流れ	静圧	音響ノイズ	入力電力
高 2000RPM	0.24A (最大)	2.24 m^3 / min (79 CFM)	2.54 mm-H2O (0.10インチ-H2O)	30 dBA	2.9 W
中 1600RPM	0.2A	1.59 m^3 / min (56 CFM)	1.53 mm-H2O (0.06インチ-H2O)	28 dBA	2.4 W
低 1200RPM	0.13A	1.1 m^3 / min (39 CFM)	0.92 mm-H2O (0.04インチ-H2O)	25 dBA	1.6 W

フロント92mmファン

このケースには、ケース前面に2つのオプション92mmファンマウントが搭載されています。フロントファンは、空気がケース前面から内部に吹き込むように取り付けます。

Antec TriCool™ 92mmファンを使用し、速度を[低]に設定することをお勧めします。ツールボックスの中に、4つの特別ファン用ネジがあります。 このネジを使って、ケースの内側からファンをケースに固定します。

ファンを電源またはマザーボードに接続します。

80 PLUS®について:

80 PLUS®は、電力会社による斬新な利用料優遇プログラムであり、より効率性の高い電源をデスクトップ、サーバに推奨するものです。

80 PLUSによる仕様パフォーマンスの要件は、コンピューター、サーバー内の電源が80%以上の効率性であることが条件となっています。これにより、80 PLUS認証を受ける電源は、通常の電源よりも効率性が最低で33%以上高いことになります。

80 PLUS認証電源は:

- デスクトップコンピューターの寿命まで、最大で$70(USD)の電気代節約が可能です。
- 室内の冷房負荷を減少させ、室内の快適性を高め、最大で30%の空調費用節約が可能です。
- コンピューターシステムの信頼性を高め、メンテナンスに必要な費用を40%まで節約できます。
- ファン使用の必要性を最小限に抑え、更に静かな環境を提供します。
- 電力工事の費用も削減します。 - 電力事業においても貢献します。
- 同一の事業所において、更に多くのコンピューターの使用を可能にします。
- 電力の無駄を削減し、汚染を防止し、環境を守ります。

Run Cool, Run Reliably, Run with 80 PLUS® Energy Efficient®

負荷20%、50% 、100%にて80%以上の効率性を維持

www.80PLUS.org

SI / VARの 80 PLUS®に関するファイナンシャル及びマーケティングアドバンテージ情報は、www.antec.com/us/80Plus.htmlにてご確認いただけます。

Antec, Inc.
47900 Fremont Blvd.
Fremont, CA 94538
USA
tel: 510-770-1200
fax: 510-770-1288

Antec Europe B.V.
Stuttgartstraat 12
3047 AS Rotterdam
The Netherlands
tel: +31 (0) 10 462-2060
fax: +31 (0) 10 437-1752

Customer Support:
US & Canada
1-800-22ANTEC
customersupport@antec.com

Europe
+31 (0) 10 462-2060
europe.techsupport@antec.com

www.antec.com

© Copyright 2007 Antec, Inc. All rights reserved.
All trademarks are the property of their respective owners.
Reproduction in whole or in part without written permission is prohibited.
Printed in China.